



## フタマタ開発 破碎施設新設

# 鹿市都計審が承認



主な概要は、川上町3625 1外81号(地番)。敷地面積は15万3589㎡。破碎施設の処理能力は682・8t/日。廃プラスチック類、ゴムくず、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず、木くず、がれき類など。審議会は、産業廃棄物処理施設の敷地の位置を定めることや建築基準法第51条ただし書きの規定に基づき許可

第74回鹿児島市都市計画審議会が20日、鹿児島市の教育総合センターであった「写真」。フタマタ開発(二俣剛社長)が計画する産業廃棄物処理施設(破碎施設、S造2905㎡)を承認、着工は秋ごろを予定しており、来年の完成を目指す。

着工は秋頃 S造2905㎡

が必要ため開催。「生活環境に及ぼす影響は小さい。地域住民からの反対の声もない」とし、承認した。今後、県都市計画審議会に諮る。

## 県都計審が承認

### 産業廃棄物処理施設

フタマタ開発

フタマタ開発(二俣剛社長)が計画する産業廃棄物処理施設について、県都市計画審議会は、このほど、原案通り承認した。着工は秋ごろを予定、来年の完成を目指す。

施設の概要をみると、場所は川上町3625 1外81号。新築するのは破碎施設(S造2905㎡)と事務所(S造2階建て2829・36㎡)と事務所(S造2階建て75・71㎡)の2棟を計画。新設するがれき類等の処理能力は682・8t/日を見込んでいる。

処理施設の主な内容は、受入後に粗選別を行い、2軸粗破碎機により機械選別を実施。その後、振動と風力の選別機で細かく分類。重畳物は手選別を経てさらにロボット選別機により品目ごとに分ける。

また、軽畳物は光学式により廃プラスチック類と可燃物に分類。処理系統途中に配置された磁選機により、磁性物を有価物として回収する。

なお、同審議会ではサニタリー(池本宗隆社長)が司市谷山港3丁目計画している油槽分離施設の処理能力を倍増して60㎡/日とする議案も承認した。